

## 平成 21 年度 幸区区民会議 第 2 回 安全・安心・生きがい部会

開催日時 平成 21 年 5 月 14 日 (木) 13 時 30 分 ~ 15 時 00 分

会 場 幸区役所プレハブ 2 階会議室

参加委員

専門部会 A 委員：松世部会長、三浦副部会長、荒井委員、猪股委員、菅野委員、高瀬委員、萩原委員、安岡委員

事務局 (企画課)：渡邊課長、高相課長補佐、蓬田課長補佐、小出主査、齊藤職員、小俣職員

議 題 1 「わんわんパトロール」の具体的な取組について

犬の散歩時の地域見守りボランティア活動

コンセプト案の検討

2 区民会議に向けた部会のまとめについて

3 その他

開会

司会：渡邊課長

- ・ 区長・副区長あいさつ
- ・ 配布資料の確認
- ・ 会議公開についての確認

議事

進行：松世部会長

### 1 「わんわんパトロール」の具体的な取組について

(松世部会長)

お忙しい中ありがとうございます。本日は参加人数も多く、様々な意見の活発な交換を期待しています。前回の部会では、地域見守り活動の事例として「川崎わんわんパトロール」の三澤さんにお越しいただき、お話を伺いました。「標識をつけて、地域を散歩すれば、犯罪者にとっては、“この地域は防犯意識が高く、犯罪がしにくい”と考え、これが防犯につながる」「成果を出そうとせず、気楽に行うのがよい」などのお話がありました。続けて行いました意見交換の概要が資料 1 にまとめられています。三浦副部会長からご説明をお願いいたします。

(三浦副部会長)

資料 1 に基づき説明。

(事務局)

資料 2・資料 3・参考資料に基づき説明。

(安岡委員)

私は南河原地区に住んでいますが、地域に南河原児童公園という大きな公園があり、そこに愛犬家が犬の散歩に集まっています。

(松世部会長)

積極的に参加して下さる方がいるといいのですが、これまでは声をかけてもなかなか積極的な反応がないということで、チラシなどをまいて、PRしていく方法をとってはどうかという案が出ています。

(高瀬委員)

とっかかりが見つかれば流れていくのではないのでしょうか。最初にどこに話をもっていくかが、肝心だと思います。南河原の公園を私も二回ほど見に行ったのですが、確かに何人か犬を連れていらっしゃる方が集まっているのを見ました。結構女の方が多かったです。どうやってとっかかりをつくるか、考えていかなければならないと思います。

(松世部会長)

今回は呼びかけのチラシのサンプルを事務局が作っていただきましたが、いかがでしょうか。

(荒井委員)

前回は話にでましたが、他の地域は愛犬家のグループからパトロールしようという発意があって、活動が始まったところが多いです。ただし、幸区ではまだそれはありませんので、区民会議から呼びかけを始めざるを得ないと思います。できれば、リーダー格になる人や、組織や団体が欲しいところです。呼びかけのチラシはすごく良いものを作っていただいて、感謝しています。内容としては、“自己責任”というところを強調したいです。

また、資料1の「ボランティア保険に加入できるが、条件が限定されている」というのはどういうことでしょうか？

(事務局)

基本的にボランティアとしての活動中に転んで怪我をしたり、交通事故にあったなどに対してなどは保険でカバーできるが、活動のコンセプトを超えた行動の結果として起きたこと、例えば、不審者を取り押さえようとして負傷された場合などは保険の適用が難しいということです。

(荒井委員)

どこまでが活動で、どこからが活動ではないのか、線引きが微妙なケースも出てくると思います。最初に丁寧な質問が必要だと思います。

(事務局)

自ら危険に向かっていったというようなことでなければ、かなりカバーできるのではないかと考えます。

(荒井委員)

活動としても、そこまでは望んでいないことを説明し、参加者に理解しておいていただく必要があります。砧の活動の資料には、「110番通報しにくい場合はこちら」とリンクがはっているHPもあるようです。また、幸警察の協力がどのくらい得られるか、非常に気になります。

(事務局)

一度幸警察署にお話を伺った時は、まだ活動の内容等について抽象的にしか伝えられず、仮定論でのお話しかできなかつたので、“通報には対応します”程度の話しかできませんでした。川崎の三澤さんの活動では、活動に参加している人の名簿を警察署に提出したということでした。幸区でも、もっと活動の具体的な形が見えてくれば、区からきちんとした申し入れやお願いをすることもできると思います。

(荒井委員)

警察の中での温度差がないか少し心配です。ただ、まだこちらでアクションを起こすに至っていないのが現状ですし、今の段階では何ともいえません。

(事務局)

宮前区の活動事例でも、年2回行っている全体の活動に警察の方も参加されているというお話がありました。幸区では警察の方の参加までは考えてはいませんが、活動の形が見えてくれば、対応などでの

協力のお願いができます。

(荒井委員)

活動に参加してくださる方にとって連絡しやすい窓口を設けてほしいです。いずれは警察も含めた地域の防犯イベントのひとつとして組み込まれるような活動にしたいです。

(松世部会長)

直通の番号などがあるといいですね。通報された内容が、地域の住民にも伝わるようなしくみは可能なのでしょうか？

(事務局)

前回の部会で話題になりました学校単位で地域の不審者や犯罪の情報を携帯電話に流すしくみもあります。ただしこれは、犯罪を起こそうとしている人も登録して情報を得てしまう可能性もあり、情報の配信先を限定するクローズ型へ移行している傾向が全体的にあります。また空き巣などの犯罪情報については、月2回、幸警察署からの情報を幸区役所が区のホームページに掲載し、お知らせするようにしています。

(荒井委員)

活動の会員になった時、やはり情報というのは定期的に欲しくなるのではないかと。活動へのモチベーションにもつながっていくと思います。

(松世部会長)

情報提供をうまく活動とつなげたいですね。

(菅野委員)

オープン型とクローズ型は、いずれも情報の受信者は保護者なのですが、学校に入った情報を学校側が精査した上で登録者に流すのか、それとも警察署からの情報を直接に登録者に流すかという違いだと理解していました。登録者をどうやって制限するかという事とは少し意味合いが違います。

(事務局)

クローズ型は、「受信者一人一人が確認され、受信者を制限し、学校の対応情報等も加えて配信する」、オープン型は、「なりすまし対策により、学校の対応等の情報は付け加えないで一般的な情報として流される。登録者の制限は特に行わず、誰でも登録ができる」という説明になっています。

(菅野委員)

保護者ではない方も登録できるのでしょうか？

(事務局)

川崎区の三澤さんの例では、学校側にわんわんパトロールの活動を説明したところ、そういう活動をしている方でしたらということで、登録してもらえたということでした。団体や個人として、学校にかけ合っていく必要があると思います。また、判断は学校がすることになり、区役所もあくまで働きかけることしかできません。学校とどう信頼関係を築いていけるかということになるかと思っています。

(菅野委員)

オープン型にするかクローズ型にするかも各学校で選んでいます。

(荒井委員)

現在のコンセプト案では、個人レベルでの活動からということですし、この点については、まず立ち上げた後の、次の課題ということになるかと思っています。

(事務局)

活動していく中で形ができていけばと思います。

(松世部会長)

愛犬家だけに限定せずに、参加できる取組ということではどうでしょうか？最近ウォーキングや散歩をしていらっしゃる方も多く、いい考えだと思います。

(荒井委員)

わんわんパトロールとは別に名前をつけて、また違った腕章などを出すということでしょうか？

(事務局)

地域の見守りやパトロールの活動に枝葉があってもいい考えだと思います。その中にわんわんパトロールもある。例えばPTAで自転車などに「パトロール中」の標識をつける活動なども見られます。地域に目を向けているんだよという活動が連携していけるとよいのではないのでしょうか。

(三浦副部会長)

まずこれから、わんわんパトロールを立ち上げ、進めて行く中で、「私たちも」という声が出てくるといいですね。学校の集団登校やパトロール活動の状況はどうなっているのでしょうか？

(菅野委員)

学校によって活動の有無もやり方も全然違います。全体的なことはわかりません。活動も変わってきているようです。ある学校では、休み明けの登校時に、街角に保護者が立っています。またある学校ではあいさつ運動などの形をとっている例もあります。

(高瀬委員)

以前私の地域では、集団登校で6年生の子が先頭に立って登校しており、私も安心だったのですが、交通事故があり、その責任をどうするのかということが被害者の保護者から出たことで、集団登校が全然なくなってしまいました。私のうちは学校から遠かったので、それ以降、子どもが2年生になるくらいまでは私が途中まで送り迎えしていました。親としてはやはり心配です。

(菅野委員)

私の地域でも集団登校は行われていません。6年生の子に責任を負わせてしまうということや、どうしても集合の時間に遅れてくる子がいるといった問題から、なくなりました。

(松世部会長)

他にわんわんパトロール活動のコンセプト案について、何かご意見はありますか？

(高瀬委員)

標識をどうするのか、そのための予算の確保をどうするのかということが重要だと思います。

(荒井委員)

どのようなものにするのか、ある程度この場で具体的な案を考えた方がよいでしょうか？

(事務局)

考え方をある程度示していただければと思います。例えば川崎区の活動では、三澤さんのお話ですと、ベストなど飼い主の体に着用するものだと、毎回着脱する手間が出てきてしまうということで、使いやすい、手間のない形にしたということでした。

(荒井委員)

宮前の場合は、首などから掛ける形でした。やはりできるだけ、つけたりはずしたりなどの手間がないものの方がいいです。

(事務局)

散歩の際に、愛犬の糞尿を処理するためのビニール袋や水を入れたペットボトル、またそうした物を入れるためのバッグを持った飼い主さんの姿をよく見かけます。そうしたバッグにも結び付けられるよ

うな、ひも付き名札形式のものなら、バッグなどに縛り付けたり、首から掛けたりできますね。最初は犬のバンダナも格好いいかなと思ったのですが、夏は暑いかもしれません。

(三浦副部長)

中のカードのデザインなどはどうでしょうか。

(事務局)

宮前区の活動の長野さんからは、「うちの犬と違う」とならないように、できるだけどんな犬だかわからないような、抽象的な、簡単な犬の絵にしましたという話もありました。資料にある「犬のおまわりさん」の目と鼻だけの絵柄もこの考えに基づいてのデザインだと思います。デザインについても何かアイデアや案があれば、出していただきたいと思います。

(高瀬委員)

ひも付き名札ケースのようなものを使えば、中身の更新も簡単です。

(三浦副部長)

チラシをどのように配布するかも検討していきたいです。

(事務局)

まず市の獣医師会などに働きかける形になるでしょうか。

(荒井委員)

獣医師会などにはぜひ積極的に協力いただきたいと思います。

(猪股委員)

各町会に回覧することなども可能なのでしょうか？それができれば、一番良いかなと思います。各町会には町会長の推薦による青少年指導員がいます。頼まれて不本意ながら引き受けている人もいますが、十年以上も熱心に活動している方もいらっしゃいます。三澤さんも青少年指導員ということでした。子どもたちが犯罪にあわないように、起こさないようにということが目的ですので、犬を飼っていらっしゃる方ばかりではないと思いますが、青少年指導員にもぜひ働きかけたいと思います。

(事務局)

町会の回覧のための必要数などはわかりませんが、お願いはしたいと思います。

(松世部長)

できるだけ多様な形で幅広く働きかけたいです。

(荒井委員)

地域の人に活動を認識してもらうには、活動を2回、3回と見せていく必要があると思います。そうやって初めて、ああそういう活動をしているんだなとなると思います。

(松世部長)

継続が本当に大事ですね。

## 2 区民会議に向けた部会のまとめについて

(事務局)

資料4に基づき説明。

(松世部長)

まだ検討の進んでいない青少年が犯罪の加害者・被害者にならないようにする取組について、今後どのように検討していくのかご意見等をお願いいたします。

(荒井委員)

前回の区民会議で、防犯のターゲットがもう少しはっきりするのといいのではないかというご意見もあったと記憶しています。わんわんパトロールについては、防犯全体で、特に青少年だけを対象としたものではありません。

費用をかけずにできる活動としてあいさつ運動などがあると思います。すぐにできることですので、ぜひキャンペーンを展開して、「声をかけ合うおう」ということを例えばポスターやホームページ、区民祭など、いろいろな機会の場を捉えてアピールしていけると良いと思います。

大型店舗への申し入れという案については、なかなか実行の上では、難しい面もありそうです。警察の協力も不可欠です。

(松世部会長)

声かけ運動として、幸区全体の動きになっていくといいですね。

(事務局)

大規模店舗の話は、ラゾーナの開発関係の方と少し話す機会があったのですが、実際の詳細となりますと、全体を管理している方々と個別の店舗の方々がおり、どこまで連携がとれるのかどうかまだ見えていません。

(荒井委員)

警察も苦々しく思っている実態があるわけですから、一度せめて文書くらいでも出せば、多少でも効果はあるのではないかと思います。いきなり強い行動は難しいと思いますが、まず申し入れはできるのではないのでしょうか。

(松世部会長)

青少年の窃盗などは早いうちに芽を摘んでおかないと癖になってしまいます。私の地域でも先日お店で捕まった子がいたのですが、かばんを持っていて、本当にその中にいろいろな物が入っていた。ところが、その子はこのかばんは自分のではないと言い張る。でもかばんの中にはその子の物も入っている。警察に連れて行ったのですが、店側も結構大きなものを盗られていても気がつかないこともあり、本当にびっくりしました。万引きしずらい店づくりが必要だと思います。

(三浦副部会長)

お店からの声かけが必要だということですね。

(高瀬委員)

本当に必要だと思います。

区民会議での部会報告の発表担当者は、次のように決定。

- ・部会検討の経過(松世部会長)
- ・他区のわんわんパトロールの活動事例について(三浦副部会長)
- ・検討状況、検討の方向性(荒井委員)

### 3 その他

- ・B部会の加瀬山視察について
- ・さいわいデータブック 2009 について